

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年11月28日

計画の名称	扶桑町における水環境改善の推進		
計画の期間	平成 28年度 (1年間)	交付対象	扶桑町
計画の目標			

公共下水道（污水）の整備を推進し、家庭や事業所の汚水を適切に排除し、快適な生活環境の確保と河川等の水質保全を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を36.6%（H27年度末）から37.4%（H28年度末）に増加させる。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	
		36.6%		37.4%	上段（黒）：計画 下段（赤）：実績
		36.6%		38.3%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	194百万円 183百万円	A	194百万円 183百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	------------------	---	------------------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
扶桑町都市整備課（下水道グループ）において事業効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討した。	平成29年10月 公表の方法 町公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H28						
A-1	下水道	一般	扶桑町	直接	扶桑町	污水	新設	扶桑第5-1号污水幹線	推進工法L=143m L=127m	扶桑町					40 48		
A-2	下水道	一般	扶桑町	直接	扶桑町	污水	新設	扶桑第5・9処理分区面整備	開削工法L=3,868m 推進工法L=143m L=3,860m L=143m	扶桑町					149 108		
A-3	下水道	一般	扶桑町	直接	扶桑町	污水	新設	実施設計（扶桑第5・9処理分区）	設計区域面積 A=11ha A=10ha	扶桑町					5 27		
											194						
											183						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H28							
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28						
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28						
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・扶桑第5、第9処理分区の管きよ整備を行うことにより、下水道処理人口普及率が向上し、家庭や事業所の汚水が適切に排除され、快適な生活環境の確保と河川等の公共用水域の水質保全が、図られた。														
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	37.4%	目標値と実績値 に差が出た要因	当初見込んでいた人数より行政人口は減少し、供用開始区域内人口は微増したため、目標値を上回った。											
		最終実績値	38.3%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

3. 特記事項（今後の方針等）

・人口密度が高い下水道未整備の市街化区域を優先して管きよ整備を進め、下水道の効率的な普及促進を図る。